

## 株式会社東京大学TLO

### エコーガイド下穿刺・固定用ドレッシング「カテリープラス<sup>TM</sup>エコー」

#### 【開発の背景・従来の課題】

末梢静脈にカテーテルを留置する際に、穿刺や固定が不適切だと静脈炎などの合併症が生じます。このため、超音波検査装置によって血管や穿刺針の状態を観察しながら、カテーテルを留置する手技（エコーガイド下での穿刺）の標準化を試みています。しかし、エコーゼリーを塗布した部位に穿刺することは、ゼリーによる針の詰まりや穿刺部の感染の懸念があります。また、エコーゼリーの代替として消毒液を塗布する例もありますが、乾燥が早く、観察のしにくさや標準化が難しいという問題点がありました。

#### 【開発体制・開発製品】

東京大学医学系研究科の真田弘美教授、村山陵子特任准教授、阿部麻里特任助教らとニチバン株式会社は、上記課題について共同で解決策を講じ、エコーの超音波透過性、カテーテルの固定力、そして透湿性の高いドレッシング材を開発しました。

具体的には、穿刺部が見えるように透明にしたフィルムドレッシング材を貼付後に最上層のフィルムの上からエコーゼリーを塗布することで、エコーによって血管及び穿刺針を観察しながら穿刺でき、かつそのままカテーテルを固定でき、さらにカテーテルの先端部の状況を経時観察できます。

また、フィルムドレッシング材を貼付した際に粘着面と皮膚の間への空気の混入を防ぐことも可能にすることで、超音波透過性と透湿性を向上させました。

#### 【製品メリットと社会的インパクト】

これまで視診や触診技術に頼っていた穿刺ですが、開発製品を用いれば、最

適な血管に適切にエコーで観察しながら穿刺することが可能となり、点滴のトラブルなども解消できることから、患者の不安や苦痛を和らげることができ、医療従事者のストレスも軽減できます。

(適宜写真や図を挿入)



【関連サイト（販売カタログ・動画等参考情報）】

[https://www.nichiban.co.jp/medical/dressing\\_material/cathereplusecho/](https://www.nichiban.co.jp/medical/dressing_material/cathereplusecho/)

【詳細情報のお問い合わせ先】

ニチバン株式会社

医療関係者向け製品のお問い合わせ・資料請求フォーム

<https://www.nichiban.co.jp/contact/medical/>

フリーコール：0120-377-218